

ヤンユキ
楊雪 二胡コンサート 2022

 Yang Yuki



Yang Yuki Erhu Concert 2022

2022. 11. 13 (日) 18:00開演 岡山市民会館 大ホール
11. 23 (水) 17:00開演 電力ホール
12. 01 (木) 18:00開演 高崎芸術劇場 大劇場

主催：楊雪音楽事務所

第一部

1. シルクロード
メイファサンノン
2. 梅花三弄
サイマ
3. 賽馬
4. アロハオエ〜カイマナヒラ
5. 見上げてごらん夜の星を
6. 雪の舞
7. 日本海

第二部

8. 宇宙戦艦ヤマト
9. ふるさと
10. 川の流れのように
11. リベルタンゴ
12. 夜来香
イエライシャン
13. BABY ONE MORE TIME
14. 昴
15. 雲・海 sea of clouds

楊雪 <二胡> Yang Yuki

幼少期から二胡(胡弓)演奏家・作曲家である父・楊興新(ヤンシンシン)の影響で二胡に親しむ。書道展で最優秀賞を得た経験もあり、高校・大学時代には、室町時代から伝わる小笠原流礼法を学び、「花鬘伝(はなかずらでん)」を授かるなど、日本文学、文化、音楽に親しみながら成長した。東京経済大学経済学部学士号取得。

2007年から、父・楊興新に本格的に師事。2011年12月、プロデビュー。
2013年6月、オリジナル曲を収録した初のアルバム「櫻 Eternally」をリリース。
2014年、中国北京にある音楽大学、中央音楽学院へ中国政府奨学金留学生に選ばれ入学。在学中は田再勳(デンザイリ)に師事。同校大学院へ入学後、板胡を李恒(リハン)、二胡を陳耀星(チェンヤオシン)にも師事。
2016年4月、2ndアルバム「雪の舞」をリリース。2016年8月、中国「第三回 敦煌杯・上海二胡コンクール」にて銀賞を受賞。
2017年7月、中国「第六回 国際中国器楽コンクール」にて金賞を受賞。
2017年、東京オペラシティコンサートホールで開催された音楽文化交流プロジェクト「ONE ASIA ジョイントコンサート ジャパンプレミア 2017」では、二胡奏者として参加。この模様は、テレビ朝日「題名のない音楽会」にて放映された。

2018年、中央音楽学院音楽ホールにて、趣向をこらした演奏で第一回修士学位卒業コンサートを成功させる。
2019年7月、3rdアルバム「雲・海」をリリース。
2019年10月、第二回修士学位卒業コンサートを日本人として初めて王府ホールで開催した。
難曲とされる協奏曲「長城随想」全4楽章を中央音楽学院民族管弦オーケストラと共に演奏。
また、日本からのトップアーティストや著名アニメーション作家による、アニメーション放映や生け花とのコラボレーションにより、日中友好や文化交流を表現した。
2020年6月、修士課程を修了、帰国。2021年10月、日経ホールにて帰国後初の東京公演を開催。

演奏者だけでなく二胡教育者としても活動している。
2007年に日本二胡学院東京大塚教室を設立、日本二胡学院専任講師となる。
その後、岡山、仙台、群馬、前橋にて二胡教室を開き、生徒の中から、二胡奏者・二胡教育のプロフェッショナルも育ち、それぞれ活躍の場を広げている。
また2021年には、全国の二胡愛好家の育成や水準の向上を願い【日本二胡学院・二胡検定】(通称、ニコガク検定)を立ち上げる。

社会貢献活動にも取り組んでおり、「二胡が持つ音楽の力」をより多くの方々へ届けたいという願いから、全国での演奏活動のほか、日本各地の老人ホーム、障がい者支援施設や被災地などで数多くの訪問演奏も行い、楊興新が設立した慈善事業「星の基金」の想いを引き継ぎ、現在中心となって活動中。
またその活動の派生として、2016年に楊雪の活動理念に賛同したメンバーと「楊雪二胡楽団 YANG YUKI ERHU ORCHESTRA」結成、社会貢献・支援活動を継続中。

二胡を通じて日本と中国の「架け橋」として友好・平和を願い、そして、日中文化の融合をテーマに活動中。
中国音楽家協会及び、中国民族管弦楽二胡学会会員。



オフィシャル
ホームページ



YouTubeチャンネル
yangyukioffice



Facebook



Instagram



受賞歴

2016年8月
中国「第三回 敦煌杯・上海二胡コンクール」にて銀賞を受賞。
2017年7月
中国「第六回 国際中国器楽コンクール」にて金賞を受賞。

YouTube合奏企画

2020年5月 「瑠璃色の地球」合奏を企画・監督
2020年5月 「宇宙戦艦ヤマト」合奏を企画・監督
2021年1月 「雪の舞」合奏×アニメーションを企画・監督
2021年1月 「揚子江」合奏を企画・監督
2021年9月 「I Will Follow Him」合奏を企画・監督

はかなく深い哀愁をたたえた二胡の音色。

それは人間の声に近いとも言われています。

まるで語り部が相手の顔を見ながら

ゆったりと語りかけるように、

二胡はひとりひとりに向かって物語を奏でます。

では、その物語とはいったいなんなのでしょうか？

語りかけたいこととはなんなのでしょうか？



2019年、中国北京の中央音楽学院での卒業コンサートで、

楊雪が掲げたテーマは「夢」と「結」。

表現と表現、空間と五感、演者と客席、日本と中国

——あらゆるものを二胡が、楊雪が「結」ぶことが、

彼女が信念と努力をもって目指し続けてきた「夢」でした。

それは夢物語に終わることなく、さらに大きな物語へと続く礎となりました。

2年後の日経ホールコンサートでは、「伝」と「共」へとテーマが広がります。

卒業コンサートで確固たる軸を築き上げた楊雪は、さらなる研鑽を積み、

自らが伝統の「伝」え手となると同時に、よりいっそう客席の皆様と心と心が

「共」鳴する瞬間をつくり上げることを目指したのです。



「夢はいつまでも、結びつきは永遠に。

深い伝統で共鳴し合い、

共に前に進んでいきたい。」



この一筋の光をもとに、楊雪の物語は続きます。

新しく広がっていく、一見無謀にも思える挑戦とともに。

物語の主人公は楊雪でもあり、演奏を共に楽しんでくれる皆様でもあります。

そして、二胡がシルクロードから中国に伝わり、日本でも愛されてきた歴史は、

音楽を心の癒しとしたひとりひとりの歴史でもあり、

人と人が音楽を通してつながり、輪を広げてきた歴史でもあります。

今日もその歴史の中の大事な一日です。

ここでしかできない、今日しか奏でることのできない音色を

楽しんでいただけることを願って、楊雪は挑戦を続けます。



1. シルクロード 作曲:喜多郎

1980年、NHK制作のドキュメンタリー番組「NHK特集 シルクロード」のテーマ曲。
喜多郎の代表作。かつて二胡が伝えられたというシルクロード。そのシルクロードの旅を
思い起こさせる優しく、穏やかな曲。



収録アルバム「櫻」

2. 梅花三弄 作曲:陳志遠

メイファサンノン
琼瑤の小説をもとに中国で大ヒットしたドラマの曲。美しく儂い世界観が特徴の一曲。
楊雪が演奏したこの曲は中国版TikTok (抖音:Douyin)で約120万ダウンロードされて
いる (2022年9月現在)。



収録アルバム「雪の舞」

3. 賽馬 作曲:黄海懷

サイマ
黄海懷が60年代初め、内蒙古の民謡をもとに作った曲。
内蒙古の人々が祭典のとき競馬を行う情景を、熱く、奔放に、生き生きと描写している。



収録アルバム「雲・海」

4. アロハオエ〜カイマナヒラ 作曲:(アロハオエ)QUEEN LILIUOKALANI
(カイマナヒラ)KING CHARLES E

親しまれ歌い継がれている ハワイアのメドレーです。ALOHA OEは、ハワイ王国
最後の女王となったリリウオカラニの作詞 作曲。

「アロハ・オエ」とは、愛する人との別れを惜しむ切ない歌詞。

そして、KAIMANA HILAは 近代ハワイ音楽の父とも評されるチャールズ・キングが
アンドリュ・カミングスと共に、ハワイのシンボル、ダイヤモンドヘッドを歌った曲です。

二胡とフラのコラボレーションのためのメドレー。



収録アルバム「多彩」

5. 見上げてごらん夜の星を 作曲:いずみたく

1960年に初演されたミュージカル「見上げてごらん夜の星を」の劇中主題歌。作詞永六輔、
作曲いずみたく。1963年、坂本九のカバーがヒットし第5回日本レコード大賞作曲賞を受賞。
第2弾はフォーリーブスの歌唱、その後も多くのアーティストに歌われています。



収録アルバム「多彩」

6. 雪の舞 作曲:楊雪

「二胡を通じて沢山の方と出会いました。音楽の仲間、先輩、私を応援してくれているファン
の方々、昔から支えてくださっている方々。今までそしてこれから、沢山の方々を「楊雪の世界」
へ誘い、手を繋ぎ、輪になって…皆様と一緒にいつまでも楽しく踊っていきたい。」
そんなイメージで制作した一曲。



収録アルバム「雪の舞」

7. 日本海 作曲:楊興新

日本海は1995年に楊興新が第3回七夕コンサートの為に作曲。大昔、日本と大陸が陸続きだったときにはなかった
日本海。そして今、日本と大陸を大きく隔れている日本海。日本人のたくましさ、やさしさ、愛情深さに感動し、二胡で
日本を表現したいと思ったとき、浮かんだテーマが日本海だった。

作品は二部構成。一部は鉛色の空、黒い海。切り立った岩礁にぶつかり砕け散る白い
波頭がしぶきをあげる荒々しい日本海。

絶壁に立って海を眺めていると、若者が全力で叩く和太鼓が、作者の耳に海鳴りのように
響いてくるという情景。二部は夏の日本海。蒼い海に白いかもめ。

かもめの声の中に作者自身の故郷、中国を熱く想う心情が託されているのかもしれない。

(楊興新アルバム「日本海」から抜粋)



収録アルバム「雲・海」

待望のニューアルバム

2022年11月リリース!



多彩

1. ひまわり
2. 見上げてごらん夜の星を
3. Baby One More Time
4. アロハオエ〜カイマナヒラ
5. 故郷の原風景
6. Autumn Leaves
7. 愛燦燦
8. Rock With You
9. ラストエンペラー
10. 愛の讃歌

¥3,000 (税込) YRCL-88005 YANG Records

8. 宇宙戦艦ヤマト 作曲:宮川泰

1974年にテレビ放送された、異星人ガミラス帝国による侵略で滅亡の危機に瀕した地球を救うため建造された宇宙戦艦「ヤマト」の遠大な旅と戦いを描いたSFアニメの主題歌。
阿久悠 作詞 宮川泰 作曲。

9. ふるさと 作曲:岡野貞一

故郷(ふるさと)は、高野辰之作詞・岡野貞一作曲による文部省唱歌。
子供の頃の野山の風景を遠い地から懐かしむという内容で、生まれ故郷を離れて学問や
勤労に励む人の心情を歌っている。



収録アルバム「雪の舞」

10. 川の流れるように 作曲:見岳章

秋元康 作詞、見岳章 作曲。
1989年に発表した美空ひばりの生前最後に発表されたシングル曲。



収録アルバム「雪の舞」

11. リベルタンゴ 作曲:Astor Piazzolla

1974年発表の作品。Libertango(リベルタンゴ)という単語は、libertad(自由)と
tango(タンゴ)を合わせて作った造語によるもの。
当時独裁者とも知られるファン・ドミンゴ・ペロンが大統領に返り咲くようなアルゼンチンの
雰囲気嫌気がさして、アストル・ピアソラがイタリアで演奏活動をしていたときの作品。



収録アルバム「雪の舞」

12. 夜来香 作曲:黎錦光

黎錦光が作詞作曲し、1944年(中華民国33年)に、満洲映画協会のスターであった
李香蘭(山口淑子)の歌唱により上海の百代唱片公司から発売された中国の歌謡曲。
「夜来香」とは、甘い香りを持つ花をつけるガガイモ科の植物の名である。



収録アルバム「櫻」

13. BABY ONE MORE TIME 作曲:SANDBERG MARTIN KARL
MARTIN MAX

プリトニー・スピアーズの鮮烈なデビュー作。
彼氏と別れたばかりの女の子の気持ちを歌った曲。
「寂しいから、別れたばかりの元彼がもう1回電話してくれないかな」という意味です。



収録アルバム「多彩」

14. 昴 作曲:谷村新司

1980年に発表された谷村新司の代表曲の一つであり、ソロ歌手としては自身最高となる
大ヒット曲。日本以外のアジア圏でも「北国の春」と並んで著名な日本の楽曲である。
「昴」というのは「プレアデス星団」の和名でもある。



収録アルバム「櫻」

15. 雲・海 sea of clouds 作曲:楊雪

高くそびえる山の頂に立ち、目の前には、山々の峰、どこまでも広がる雲海。
そんな景色をイメージして作られた曲。

“より遠い景色を眺めたいなら、さらに高い場所へ登ると良い”という意である曲中朗読の詩は、
中国古典詩「登鶴鶴樓(唐・王之渙)」の中の一節。

白日依山尽 黄河入海流

はくじつやまによりてつき、こうがうみにいりてながる

欲窮千里目 更上一層楼

せんりのめをきわめんとほっし、さらにのぼるいっそうのろう

この詩はまさに、
“高みを目指すために更なる努力を重ねていきたい” そう強く願う楊雪の心情を表している。



収録アルバム「雲・海」



Hosoi Yutaka

細井 豊

(ほそい ゆたか) <ピアノ・シンセサイザー>

岡山公演 群馬公演

1973年、名古屋にてセンチメンタルシティロマンス結成。同年、大阪天王寺での春一番コンサートでデビュー。
1975年、CBSソニーよりレコードデビュー、アメリカ西海岸、ウェストコーストの音楽を彷彿とさせる曲に、日本語の歌詞をのせていくスタイルで、以来、数々のアルバムを発表する。
2011年8月10日、センチメンタルシティロマンスNEW ALBUM「やとこめ」をワーナーミュージックジャパンより発売。
2013年、過去のセンチメンタルシティロマンスの数々のアルバムが、最新デジタルリマスターにて、ユニバーサルミュージックおよび日本コロムビアから発売。
2022年08月31日には、センチメンタルシティロマンスの旧アルバム「シティマジック」が、ユニバーサルミュージックから発売される。
2022年時点でバンドとしても49周年を迎え、個人的にも映画音楽なども含む様々な作曲や、加藤登紀子、竹内まりや、EPO、伊勢正三、太田裕美、大野真澄、鈴木康博をはじめ、いろいろなアーティストのステージやレコーディングでのサポートなど、多様な活動を続けている。



Sato Masaharu

佐藤 正治

(さとまさはる) <打楽器>

仙台公演 群馬公演

静岡県三島市出身。打楽器、声駆使し「地球の音」を追いかけ、世界を股にかけるアーティスト。
ドラミングは勿論、打楽器と声とを自在に操るエネルギッシュな表現は、各国で非常に高い評価を得ている。
2020年には、4パートをドラムのみで構成した、ドラム組曲「NAKED〜火水風地 (KA, SUi, HUU, CHI)〜」YouTube 等で発表。
他に類を見ない、彼のソロパフォーマンスは、新たなドラムの表現の可能性を世界に示した。
現在、オンラインにて、ドラム&パーカッションレッスンも開始。日本のみならず、各国との音楽交流も積極的に行っている。
2021年春に行われた、俳優、原田大二郎とのプロジェクト「朗読とパーカッションの新世界」ツアーでは、音と朗読が一体となった、今までに出会った事のない、新世界を創り出した。春公演が大好評につき、2021年秋公演も決定した。
又、作曲家として、様々なアーティストへの楽曲提供、CM、映画音楽等、多くの作品を手掛ける他、シドニーオリンピック新体操日本代表の演技曲、NHKスペシャル「アマゾン最後の秘境」の音楽を担当。加川良の「みらい」を共同プロデュースする等、音楽プロデューサーとしても活躍。



Inoue Kohei

井上 公平

(いのうえ こうへい) <三味線・篠笛>

井上 良平

(いのうえ りょうへい) <和太鼓>

岡山公演 仙台公演 群馬公演



Inoue Ryohei

「音楽に国境はない。しかし国籍はある」という思いから、和楽器の可能性を追求し、世界に向けて発信している良平と公平は、和太鼓、三味線、篠笛を奏でる双子ユニット「和楽器ツインズ AUN(あうん)」において精力的に活動を行っている。
2009年には、AUNが邦楽界で活躍する若手ミュージシャンを集めて、もっとポピュラーに、もっとシンプルに、もっとかっこよく和楽器の素晴らしさをアピールしていくプロジェクト「AUN」クラシック・オーケストラ」を結成し、国内外で演奏活動を行っている。
伝統的な和楽器の特色を生かしつつ、現代の人々の感性と融合させた彼らの活動は、日本から世界へ新しい音楽史を紡ぐフロントランナーの役割を担っている。



Tsurugi Masaki

鶴来 正基

(つるぎ まさき) <ピアノ>

岡山公演 仙台公演

石川県金沢市出身のピアニスト・作曲家。
厳密に構築された録音物と即興性の強いライブが対照的である。
歌を際立たせるピアノ演奏にも定評があり、加藤登紀子、ビエール・バルー、宮沢和史、Sandii など多くの歌手と共演。
最近では、松田美緒、Les Romanesques 等のコンサートやレコーディングに参加する他、映像作品の音楽を手掛けるなど幅広い活動を続けている。
目下、自身のソロアルバムを鋭意制作中。

鶴来正基Facebook <https://www.facebook.com/masaki.tsurugi>

Hamano Sigeru

浜野 滋

(はまの しげる) <パーカッション>

岡山公演

14歳よりドラムを始める。15歳からアランドーソンメソッドの水野オサミ氏に師事し、基礎、読譜、ポリリズムなどを学ぶ。
高校時代はRockやPops、大学時代にはブラックミュージックと出会い、R&Bやファンク、soulを中心に演奏活動を行う。
大学卒業後、パーカリー音楽大学のオーディションに合格し渡米。
Terri Lyne Carrington(Jazz)、Mark Walker(Latin)、D. Parks(Hip Hop) 各氏に師事した。
帰国後は様々なライブ、ツアーやレコーディングと並行して自宅スタジオにてプライベートレッスンを行う。

主な共演者: 高橋みなみ、平井堅、織田哲郎、松任谷正隆、kis-my-ft-2、上間綾乃、滴草由実、宏実、為岡そのみ、杏子、福井舞、吉田博、cliff edge、the rice cookers、etc..



Inoue Tomoko

井上 とも子

(いのうえ ともこ) <チェロ>

岡山公演 仙台公演 群馬公演

桐朋学園大学チェロ科卒業。
恵泉女学園、アルル音楽学園講師を歴任。東京ソリストアンサンブルメンバーとして、日展親交100年記念コンサートもメキシコ国内各地にて開催。
現代作曲家の独奏曲、室内楽作品を多数初演。台湾・音楽管弦楽団首席奏者、ソリストとして度々客演。
ユーオーディア・アンサンブル、久米小百合氏主催のユニット他、他ジャンルのアーティストと共演。テレビ、ラジオ出演、映画、TVドラマ、ゲームのための音楽録音多数。
また、全国、海外数箇所での教会、学校等で、聖書に基づく癒しのメッセージと音楽を一体化した公演を行う。



Osakabe Tomohiko

越阪部 智彦

(おさかべ ともひこ) <ベース>

岡山公演 仙台公演 群馬公演

中央大学モダンジャズ研究会出身。エレキベースは独学で学び、ウッドベースを安か川大樹氏に師事。
2004年、自己のリーダー・ジャズバンドが「埼玉県県民芸術祭2004inHANAZONO」に参加し、バンドに「グランプリ(埼玉県知事賞)」、個人にも「ベストプレイヤー賞」を受賞。
現在、主にジャズを演奏する傍ら様々なジャンルのライブサポート、レコーディング、アレンジ提供をしている。
野宮真貴(元ビチカート・ファイヴ)が歌う古川本舗の楽曲「ピアノレッスン」にてアレンジ提供、ベーシストとしても参加。CM曲となった東方神起「愛をもっと」、AKB48等のレコーディングに参加、JY(元KARA・知英)サポートバンド、また近年ではアニメ「臨死江古田ちゃん」ED曲の作詞作曲も手掛けている。



Tsutsumi Yuka

堤 有加

(つづみ ゆか) <キーボード>

仙台公演 群馬公演

群馬県出身。音楽学校在学中よりキーボードアーティストとしてのプロ活動を開始。ジャズ・フュージョンを得意としながらも、幅広いジャンルで国内外様々なアーティストのライブサポートやレコーディングに参加、TV音楽番組やラジオ等にも出演している。また自身のリーダー・ライブでは、2019年にMotion Blue YOKOHAMAにてワンマンライブを成功させる。国内トップミュージシャンとともに繰り広げられる庄巻のステージは好評を博している。活動の幅は演奏活動のみならず、ヤマハやNordにおけるシンセサイザーのデモンストレーションやセミナーを全国各地で行ったり、後進の指導にもあたっている。

主な参加ツアー: 広瀬香美「Winter Tour 2015.2016」など
主な共演アーティスト: 吉田栄作、AKB48、日野「JINO」賢二、坂東慧 from T-SQUARE など
音楽番組出演: NHK「SONGS」、日本テレビ「AKBINGO」など

岡山公演

La Voce (ラ・ヴォーチェ) <コーラス>

妹尾美穂子主宰。1998年「ラ・ヴォーチェ」結成以来、地域イベント・施設などでのボランティア演奏に出演。

主催コンサートはクラシカルな正統派から、笑いあり涙ありの物語まで…バラエティーに富んだステージは常に満席。

また毎年「岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト」にも挑戦。2010年、2013年には福島県で行われる全国大会に県代表として出場。

今年の県大会では初めてのグランプリを受賞。仲間と共に、歌と人生を楽しみながら、来年は結成25周年を迎える。



MAHALO MAHALO Hula Studio (マハロマハロ フラ スタジオ) <フラダンス>

角南牧子主宰。岡山市北区に本部をもちハワイアンイベントに多数出演。

Kumu Hula Kawika Alfichelに師事し、同じ門下生でもある高塚順子、小船順子と共にマハロマハロ フラ スタジオ主催のハワイアンショーを2年おきに開催。2022年12月9日ホテルグランヴィア岡山フェニックスの間にハワイアンショー(Lunch Show)を予定している。



角南 牧子
(すなみ まきこ) <ウクレレ>

中村 慎一 (なかむら しんいち) <ハワイアンミュージシャン>

1995年Hawaiian Musicに移行。Chino Monte, Manoa DNAと共演し、Danny Kaleikini Tourに参加。現在、中国地方最大級のハワイアンイベントAloha Pā'ina 主催。Hawi Hawaiian Band Live PA、など多数のイベントで活動中。ウクレレレッスン講師も務める。



Like it (ライク・イット) <ストリートダンス>

数井久実率いるプロのダンスユニット。

20年以上上長きに渡り、本番ニューヨークのプログラマーに師事し、舞台経験豊富なヒップホッププログラムダンサー。

岡山シンフォニーホールをはじめ、備前市民会館でのダンス界のジャンルを越えるダンスショーでは、圧巻のダンスショーを披露。

多くの舞台を主催開催するなど活躍は幅広い。

Like it カルチャースタジオのオーナーでもあり、多くの生徒を指導している。



仙台公演

the voice of LOVE (ザ ボイス オブ ラブ) <コーラス>

プロデューサー猪狩太志を中心に、2012年に結成された仙台最響ボーカルグループ。これまでに3枚のオリジナルCDをリリース。日本語のオリジナル楽曲を制作する数少ないグループとして、全国のカポエラ団体から注目を集めている。中でも、震災後に発刊された詩集「ありがとうの詩」に収録された詩に曲を提供した「あなたがいたから」や、2013年から開催されている自転車レース「Tour de TOHOKU」の公式イメージソング「明日へのペダル」、チャリティイベント「GOSPEL AID for KIDS」のために書き下ろした「La La Laーきみをまってる」など、オリジナル楽曲のクオリティには定評がある。ゴスペル界のビッグママこと亀岡友香氏との共演をはじめ、角松敏生氏、八神純子氏、クリス・ハート氏などの共演経験を持つ。角松敏生氏は35周年コンサート(横浜アリーナ)をはじめ、5シーズン連続で共演するなど信頼が厚い。また文化庁芸術家派遣事業の一環として、宮城県内の小中高校などでのアウトリーチ&ゴスペルコンサートを行うなど、教育の現場にも活動の場を広げている。2019年には、3年ぶりとなる3rdアルバム「DIVE」をリリース。1/12には仙台darwinにてワンマンライブの成功を取っている。2022年で10周年を迎える。



Ke' Olu Makani Ka Uhiwai O Ka'Aina (ケ オル マカニ カウヒワイ オカ アイナ) <フラダンス>

菊地恵子主宰。2005年にハラウを設立。ハワイ島在住のクムフラ メレアナ マヌエルに師事。ハラウ名 ケ オル マカニ カウヒワイ オカ アイナの名を付けて頂く。

2013、2014年、2019年ハワイ島のメリーモナークフラフェスティバル オープニングセレモニー・ホウラウレアにハワイ校と共に出演。

2013年7月、カリフォルニアで開催されたジョージナオベフラフェスティバル マクワヒネ アウアナ部門で1位入賞。

2017アラホウラウアナアロハクブナインストラクター部門1位入賞。ハワイ文化を継承しながら、多数のイベントに参加。活動の場を広げている。



長棟 昌樹 (ながたね まさき) <ウクレレ・ヴォーカル>

宮城県出身。中学・高校はバスバンドでトランペット。大学時代は、キャバレービッグバンドでトランペットのアルバイト。2005年、レトロハワイアンズを結成、バンドマスター。「ハワイアンからムード歌謡まで」をキャッチフレーズに、仙台市を中心に活動。2022年10月1日利府町芸術文化協会公演会出演。2023年1月21日HNEW YEAR JAZZ GARDEN IN SENDAI 出演予定。定禅寺チャリティ・ストリートライブはレギュラー出演。



Shot (ショット) <ストリートダンス>

Shotは高橋隆輝率いる、仙台公演限定のダンスユニット。

宮城県・仙台市内で活躍する5名のダンサー。

普段は個々で活動しているが、楊雪との縁から、今日限りのスペシャルユニットを組み、楊雪のバックダンスを務める。

県内外でも広く活動している。



群馬公演

混声合唱団 JOY (ジョイ) <コーラス>

混声合唱団JOYは「歌ってJoyful、聴いてEnjoy」をテーマに結成され、今年で25周年を迎えました。現在50名を超える団員が毎週火曜日の19時から高崎市中央公民館で楽しく練習しています。来年7月には延期を重ねて5年ぶりとなる「第12回定期演奏会」を高崎芸術劇場の大劇場で開催します。プログラムは「蝙蝠のワルツ」「ラジオ体操の歌」「続・東京物語」など聴いて頂くお客様と歌っている私たちも元気になる楽しい曲ばかりです。仲間たちの明るい歌声に勇気と元気を貰いステージでの素晴らしい感動を夢見て心と声を合わせて頑張っています。



STUDIO MAHANA (スタジオ マハナ) <フラダンス>



STUDIO MAHANAの代表 SATO NAO。3才から15才までクラシックバレエを習う。2013年からフラダンスを習いはじめ、ダンスフェスティバルで多数入賞。2015年からインストラクターも手掛け、ハワイでクムからINOAを頂く。2018年STUDIO MAHANAを設立、2021年に本格的なダンススタジオが完成する。2022年7月フラコンペ60才以上の部門でグループ、ソロ共に優勝。



角南 牧子 (すなみ まきこ) <ウクレレ>



中村 慎一 (なかむら しんいち) <ギター>

DANCE SPACE Q <ストリートダンス>

DANCE SPACE Qは高崎市・前橋市に6スタジオ、月間約500クラスを展開するダンススタジオ。バックダンサーやコンテストなどで活躍する現役ダンサー50名ほどが、HIPHOPやJAZZ、HOUSEやコンテンポラリーなど様々なジャンルのダンスを指導しながら、県内外のイベントや舞台公演も数多く手掛ける。



楊雪二胡楽団 (やんゆきにこがくだん)

二胡奏者 楊雪(ヤンユキ)が以前から取り組んできた社会福祉事業への貢献を目的に、自身が運営する日本二胡学院東京大塚教室にて楽団員を募り、2016年4月に設立される。高齢者福祉施設や障がい者支援施設への訪問演奏を始め、音楽イベントへの参加、東京大塚教室発表会での演奏、楊雪主催コンサートへ特別出演など、各地、様々な場で活動中。2018年、北京の中央音楽学院音楽ホールで開催された「第一回修士学位卒業コンサート」、2019年、中国の王府ホールにて開催された「第二回修士学位卒業コンサート」、2021年、東京大手町の日経ホールにて開催された「楊雪二胡コンサート」東京公演にて、楊雪とともに舞台上で合奏を披露するなど、楊雪のコンサートにも協演し、大舞台でも数多く活躍する二胡楽団。



楽団員



岡崎 みどり Okazaki Midori



金井 由佳 Kanai Yuka



山岸 聖子 Yamagishi Satoko



山形 尚世 Yamagata Hisayo



山本 重紀子 Yamamoto Akiko



山本 佑佳 Yamamoto Yuka



市村 美由紀 Ichimura Miyuki



小宮山 太 Komiyaama Toshi



小池 玉恵 Koike Tamae



松林 泉 Matsubayashi Izumi



大野 典子 Ono Noriko



飯島 豊子 Iijima Toyoko



北村 公宏 Kitamura Kimihiro



本間 淳子 Honma Junko



唯野 容子 Tadanaka Yoko



趙 溪 Chao Kei



高木 朝子 Takagi Asako





星の基金

障がいを持つ人々と共に歩みながら
夜空を照らす星のように
きらきらと輝く人生にしたい…

設立趣旨／活動内容

私、楊雪の日本の母は、結婚後間もなくしてクモ膜下出血で倒れ、後遺症として右半身マヒと言語障害を背負いました。周囲の方々の温かい声に支えられながら、リハビリに励み、熱心な指導を受けたおかげで、切り絵を貼ったり詩を書いたり俳句を詠めるほどになりました。

私の父であり二胡の師でもある楊興新は、演奏活動の傍らずっと母を励まし続けながら、同じ困難と向き合う障がい者との楽しい交流・援助を目的に、自ら発起人となり「星の基金」を設立し、活動を続けてきました。

今後、各地の療法士の方や、困難と闘いながらも才能を活かして生活を楽しんでいる方々との交流会、日本各地でリハビリ中の身体障がい者の方々の展示会・文化祭のようなイベント主催等を計画しています。また、こうした活動を奨励・協賛する事により、障がいを持つ方々への温かい支援になればと考えています。

～小さな星でも無数に集まれば、夜空も美しく輝かしい星空になる～

“困難にある人々と共に、夜空を照らす月と星のように輝きのある人生にしたい”，という「星の基金」の想いを引き継ぎ、現在は私が中心となり活動を行なっています。

またそこから派生した活動として、楊雪二胡楽団を設立し、楽団員と協力した活動も行っています。

この活動に賛同してくださる方が増え、一人でも多くの方に笑顔になっていただける事を願っています。そのために、どうぞご支援のほどよろしくお願いたします。

楊雪



主催

楊雪音楽事務所

協賛

うさぎや

笠岡信用組合

岡本製甲 株式会社

学校法人 アジアの風 岡山外語学院

株式会社 ボブソンホールディングス

株式会社 モダン・プロ

株式会社 研美社

中国建設工業 株式会社

鳴本石材 株式会社 (50音順)

後援

FM岡山

OHK岡山放送

RSK山陽放送

tbc東北放送

岡山市日中友好協会

社会福祉法人 旭川荘

河北新報社

群馬テレビ

混声合唱団JOY

上毛新聞社

仙台市

仙台放送

高崎市民音楽連盟

日本二胡学院

日本中国友好協会

美ラビィart絵付け教室

日本中国文化交流協会

ヤン企画 株式会社

ラジオ高崎

株式会社 ビザビ

山陽新聞社 (50音順)

制作

総括
石田 麗

舞台監督

高江 ヒデユキ (ウルトラステージ)

打越 俊次 原 一貴

音響

栗山 大介 (株式会社 エヌアンドエヌ)

宮下 高明 田中 漢人

武井 亜季 秋元 将義

西込 加久見 (アダマンツ ミュージック 株式会社)

伊里矢 純 稲田 憲一

照明

高山 晴彦 (株式会社 アルファソリューション)

久慈 巴留香 作田 瀬里花

杉本 陽介 中尾 悦子

青井 史子 辰田 裕樹 石飛 志穂

舞台装飾 (大道具)

櫻井 彩香

佐藤 太一

舞台装飾 (生け花)

澤井 雅恵 (郁生流三代家元 表千家錦秋会教授)

澤井 雅総

跡部 亮太郎

加藤 雅厚 姫野 雅舟 精谷 雅悠

吉崎 孝 田形 均 紀野 雅奈 阿部 雅昭

木幡 雅三 青木 雅鶴 後藤 雅光

内田 朱美 澤井 理利子 澤井 雅登

映像撮影

OHKエンタープライズ

アートワークス

tbc Az

スクール撮影

OHKエンタープライズ

アートワークス

結城 信久 (有限会社 ストラード)

デザイン

タナカ ヒトミ

ヘアメイク

株式会社イストマネージメントオフィス

ボーチャイマーケット

そのほか、クレジットに掲載していない、楊雪二胡コンサートツアー2022に関わって下さったすべての方々に心より感謝いたします。

人と人との縁とは不思議なものです。コンサートで出会う皆様とも一期一会。

皆様喜んでいただくことで、私も成長できるのだと常々実感しています。

岡山、群馬、仙台で開いた二胡教室でのご縁も、私にとってはかけがえのないものです。

いずれも、出会いが結んでくれた縁をきっかけに、地元で根差した教室をやりたいとの思いから開いたものです。

2012年、私は東日本大震災で被災した仙台的仮設住宅や公民館に、幾度か慰問演奏に訪れました。

津波に飲み込まれた真っ黒の土地。つらい体験をされた方ばかりで、お話を聞いていると涙があふれてきます。

まだまだ、あちこちに瓦礫や悲しい記憶が残るその場所で、印象的な言葉に出会いました。

「今日の演奏を聴いて、二胡をやってみたいという気持ちになりました」

このひと言に、私はとても驚きました。

こんな大変な状況にもかかわらず、私の演奏で音楽をやってみたいという気持ちかわいてきたなんて

——もちろん、いつも音楽の力を信じて演奏をしています。

でも、こんなに音楽に力があるということ、改めて実感したのはこのときだったと思います。

こんなときこそ、音楽は必要なんだ。光になるんだ。そう実感したのです。

そして、演奏を聴きにきてくれた方々があたたかく迎え入れてくれたことで、慰問に行ったはずなのに私の心のほうがどんどん癒されていく体験を通じ、音楽は奏でる人と聴く人の両方を癒すものなんだと、つくづく感じ入りました。

仙台での皆様とのかかわりが、私を育ててくれたのです。

仙台だけでなく、岡山でも群馬でも、皆さまに育てていただいていると感じています。

何か新しいことに挑戦したいと考えている私にきっかけを与えてくださるのは、いつだって周りの皆様です。

ハワイアンと二胡を融合するアイデアは、フラダンスが好きな二胡教室の生徒さんから生まれました。

二胡を弾きながらダンスを踊るのはひじょうに難しく、前人未踏の挑戦でしたが、

そういうときこそ挑戦するのが私の身上です。

これからも、新しく幅広く二胡の音色を届けていきたいと思います。

二胡の音色を通じて、喜びや楽しさ、癒しや愛が、この世界を生きる私たちの間に生まれますように！

音楽が尽きない平和と友情をもたらし、

人と人により多くの愛と光明が満ちあふれるように。

